

福島敏夫随筆集

「乙戸南雑話「花鳥風月及び星・虹を愛でながら」から

主宰論説 39

花鳥風月（春）

ようやく、長らく待った春が訪れたようである。色々な花が咲き乱れ、改めて、百花繚乱の様相が見られるようである。梅、桃も既に満開になり、遅れ気味ながら、ソメイヨシノの桜の満開の便りが各地から届いているようだ。山桜、垂れ桜、八重桜の部分的開花のニュースも流れている。世界各地で、桜の満開の映像も、飛び交っているようである。間もなく、函館の五稜郭の桜も満開になるだろうと思われる。近くを散歩中に、乙戸小学校の運動場の桜並木も満開になって、既に葉桜になっていることに気がついた。葉桜もかなり味わい深いものもあるようである。映像の記録から、去年は、3月31日が、満開であったが、今年の満開は、3月25日で、1週間ほど早い。いろいろな影響もとりざたされているが、まあ、春の息吹として、喜ばしい。既に、近くの乙戸川の土手では、土筆が勢いよく芽を伸ばしていた。筑波山の山麓でのカタクリや白馬五竜高山植物園の水芭蕉の開花の映像も、SNSで流してもらっているようである。京都の詩仙堂からは、石楠花や錨草の開花した白い花の映像を流してもらっているようだ。民家の生け垣などで見かける山吹の黄色の花も満開になり、赤、黄、白のチューリップの花、青色のムスカリの花も、民家の庭が華やぐのに一役買っているようである。今年は、何故か、椿の方は、開花が遅れ、なかなか満開にならない様子も見られるようである。例年は、山茶花と入れ代わるように、2月に満開し、落花がびっしり地面を覆う状況が見られるが、今年は、桜と同時の満開のようだ。道端では、黄色のタンポポと青色の矢車草の花が、彩りを添えている情景がみられる。

他方、ここ4～5年、鶯の鳴き声は、5月初旬頃だったが、今年は、3月20日に、近くの乙戸南公園の中にあつた雑木林を訪れて、「ホーホケキョ」という本来の素晴らしい鳴き声を吐露しながら、春の息吹を楽しんでいるようだ。3日前、燕が再来し、電線で羽を休めている姿も見かけた。

月は、4月6日に満月になった。ピンククムーンと呼ぶようだが、かなり夜空が明るくなっていた。富士山の映像は、ダイヤモンド富士、桜と菜の花との三重奏などの映像も盛んに提供されている。正に、春爛漫の花鳥風月の情景を楽しめるような季節である。

自由短歌：

まんまるの地球の地平線虹はあの先のどこに輝く

令和5年4月10日

